

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2006-239126 (P2006-239126A)
 【公開日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-036
 【出願番号】特願 2005-58741 (P2005-58741)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D
 A 6 1 B 6/00 3 0 0 X

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 30 日 (2006.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

略鉛直な第 1 回転軸まわりに旋回自在に一端が床面上に取り付けられる床旋回アームと、
 前記床旋回アームの他端において略鉛直な第 2 回転軸まわりに回転自在に取り付けられる
 スタンドと、
 略水平な第 3 回転軸まわりに回転自在に前記スタンドに取り付けられるアームホルダと

、

略水平な第 4 回転軸まわりにスライド回転自在に前記アームホルダに取り付けられる略
 C 形アームと、前記第 4 回転軸が前記第 3 回転軸と交差するアイソセンタは、前記 C 形ア
 ームが前記床旋回アームの上方に折り畳まれるとき、前記第 1 回転軸上に位置する、
 前記 C 形アームの一端に取り付けられる X 線発生部と、
 前記 C 形アームの他端に取り付けられる X 線検出部とを具備する X 線診断装置。

【請求項 2】

前記床旋回アームの上方に折り畳まれた前記 C 形アームは、前記床旋回アームの真上に位
 置する請求項 1 記載の X 線診断装置。

【請求項 3】

前記第 2 回転軸と前記アイソセンタとの間の距離は、前記第 1 回転軸と前記第 2 回転軸と
 間の距離に略等価である請求項 1 記載の X 線診断装置。

【請求項 4】

長手方向に移動可能な天板を有する寝台をさらに備え、
 前記第 1 回転軸は前記天板の中心線と交差する請求項 1 記載の X 線診断装置。

【請求項 5】

前記第 2 回転軸は前記第 1 回転軸に平行である請求項 1 記載の X 線診断装置。

【請求項 6】

前記 X 線検出部は、前記 X 線発生部の X 線焦点と前記 X 線検出部の検出面中心とを通る撮
 影軸まわりに回転自在に前記 C 形アームの他端に取り付けられる請求項 1 記載の X 線診断
 装置。

【請求項 7】

特定のユーザインストラクションに呼応して、前記 C 形アームが前記床旋回アームの上方

に折り畳まれ、かつ前記床旋回アームの中心線が前記天板の中心線に対して所定角度で傾斜するように、前記第 1 回転軸まわりの前記床旋回アームの回転と前記第 2 回転軸まわりの前記スタンドの回転とを連動して制御する制御部をさらに備える請求項 4 記載の X 線診断装置。

【請求項 8】

前記所定角度は実質的に 45 度である請求項 7 記載の X 線診断装置。

【請求項 9】

前記所定角度は実質的に 135 度である請求項 7 記載の X 線診断装置。

【請求項 10】

特定のユーザインストラクションに呼応して、前記 X 線発生部の X 線焦点と前記 X 線検出部の検出面中心とを通る撮影軸が前記天板の中心線に沿って直線的に移動するように、前記第 1 回転軸まわりの前記床旋回アームの回転と前記第 2 回転軸まわりの前記スタンドの回転とを連動して制御する制御部をさらに備える請求項 4 記載の X 線診断装置。

【請求項 11】

特定のユーザインストラクションに呼応して、前記 X 線発生部の X 線焦点と前記 X 線検出部の検出面中心とを通る撮影軸が前記天板の中心線に略直交する向きに直線的に移動するように、前記第 1 回転軸まわりの前記床旋回アームの回転と前記第 2 回転軸まわりの前記スタンドの回転とを連動して制御する制御部をさらに備える請求項 4 記載の X 線診断装置。

【請求項 12】

略鉛直な第 1 回転軸まわりに旋回自在に一端が床面上に設けられる床旋回アームと、

前記床旋回アームの他端において略鉛直な第 2 回転軸まわりに回転自在に支持されるスタンドと、

略水平な第 3 回転軸まわりに回転自在に前記スタンドに支持されるアームホルダと、

略水平な第 4 回転軸まわりにスライド回転自在に前記アームホルダに支持される略 C 形アームと、前記第 3 回転軸と前記第 4 回転軸とが交差するアイソセンタは、前記スタンドとの旋回に伴って、前記第 1 回転軸と交差する円弧状の軌道上を移動する、

前記 C 形アームの一端に取り付けられる X 線発生部と、

前記 C 形アームの他端に取り付けられる X 線検出部とを具備する X 線診断装置。

【請求項 13】

前記床旋回アームの上方に折り畳まれた前記 C 形アームは、前記床旋回アームの真上に位置する請求項 12 記載の X 線診断装置。

【請求項 14】

前記第 2 回転軸と前記アイソセンタとの間の距離は、前記第 1 回転軸と前記第 2 回転軸との間の距離に略等価である請求項 12 記載の X 線診断装置。

【請求項 15】

長手方向に移動可能な天板を有する寝台をさらに備え、

前記第 1 回転軸は前記天板の中心線と交差する請求項 12 記載の X 線診断装置。

【請求項 16】

略鉛直な第 1 回転軸まわりに旋回自在に一端が床面上に設けられる床旋回アームと、

前記床旋回アームの他端において略鉛直な第 2 回転軸まわりに回転自在に支持されるスタンドと、

略水平な第 3 回転軸まわりに回転自在に前記スタンドに支持されるアームホルダと、

略水平な第 4 回転軸まわりにスライド回転自在に前記アームホルダに支持される略 C 形アームと、前記第 1 回転軸と前記第 2 回転軸との間の距離が、前記第 3 回転軸と前記第 4 回転軸とが交差するアイソセンタから前記第 2 回転軸までの距離に略一致する、

前記 C 形アームの一端に取り付けられる X 線発生部と、

前記 C 形アームの他端に取り付けられる X 線検出部とを具備する X 線診断装置。

【請求項 17】

前記床旋回アームの上方に折り畳まれた前記 C 形アームは、前記床旋回アームの真上に位

置する請求項 16 記載の X 線診断装置。

【請求項 18】

長手方向に移動可能な天板を有する寝台をさらに備え、

前記第 1 回転軸は前記天板の中心線と交差する請求項 16 記載の X 線診断装置。

【請求項 19】

略鉛直な第 1 回転軸まわりに旋回自在に一端が床面上に設けられる床旋回アームと、

前記床旋回アームの他端において略鉛直な第 2 回転軸まわりに回転自在に支持されるスタンドと、

略水平な第 3 回転軸まわりに回転自在に前記スタンドに支持されるアームホルダと、

略水平な第 4 回転軸まわりにスライド回転自在に前記アームホルダに支持される略 C 形アームと、前記スタンド、前記アームホルダ及び前記 C 形アームそれぞれが基準位置にあるとき、前記 X 線発生部の X 線焦点と前記 X 線検出部の検出面中心とを通る撮影軸が、前記第 1 回転軸に略一致する、

前記 C 形アームの一端に取り付けられる X 線発生部と、

前記 C 形アームの他端に取り付けられる X 線検出部とを具備する X 線診断装置。

【請求項 20】

前記床旋回アームの上方に折り畳まれた前記 C 形アームは、前記床旋回アームの真上に位置する請求項 19 記載の X 線診断装置。

【請求項 21】

長手方向に移動可能な天板を有する寝台をさらに備え、

前記第 1 回転軸は前記天板の中心線と交差する請求項 19 記載の X 線診断装置。